

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	一般家庭生活廃水汲取り事業	所管	環境クリーン部 生活環境課
			TEL 2998-9370

事業の目的 (何の為に 行うか)	一般家庭の衛生的な生活環境を確保するため、生活廃水の汲取りを行っている。
------------------------	--------------------------------------

対象 (誰を、何を 対象として いるか)	下水道未整備地域で生活廃水の吸込み槽が詰まって吸込まなくなっている一般家庭	対象とした数	141	世帯
		実際に 利用した数	1,771	件

活動の内容	(何を したか)	一般家庭から生活廃水の汲取り申請があると、市は汲取りを行い、申請者は後日納入通知書により手数料を納付する。							
	活動実績	項目名	汲取り申請件数	1771 ----- 単位 件	項目名	汲取り世帯	141 ----- 単位 世帯	項目名	汲取り手数料

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	2,121	2,014	10,469	30.9

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	汲取り量	地下水の汚染を抑制するためには、汲取りを必要とする。	4212000 ----- 単位 ℓ	4596700 ----- 単位 ℓ	91.6 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	050300	TEL	2998-9370
事業コード	一般家庭生活廃水汲取り事業	環境	環境クリーン部	生活環境課		
050306		グループ	環境衛生			
開始年度	昭和 46 年度	→	終了年度	平成 年度		

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令				
	分野別計画・指針	所沢市一般家庭生活廃水汲取りに関する条例							
	関連・類似事業								
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	5節 環境保全	中柱	4 生活環境・環境衛生の向上	小柱	(2) 環境衛生対策の推進
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 8 位		・実施計画における位置づけ…			H19	○	H20	○
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ								
	コード	3121	受益者負担の見直し	コード		コード			
	事業開始の背景	下水道が整備されていない地域では、トイレを除く台所、風呂等からの生活廃水を処理するために吸込み槽を利用しているが、年数が経過するとともに浸透しにくくなり、ついには廃水が溢れてしまうことになり衛生上好ましくない状況にあった。							

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)	一般家庭の衛生的な生活環境を確保するため、生活廃水の汲取りを行っている。														
	対象(誰を、何を対象としているのか)	下水道未整備地域で生活廃水の吸込み槽が詰まって吸込まなくなっている一般家庭				利用数の考え方 一般生活廃水汲取り申込み延件数										
	対象数	単位	平成 18 年度	151	世帯	平成 19 年度	141	世帯	利用数	単位	平成 18 年度	1,573	件	平成 19 年度	1,771	件
	事業の具体的な内容及び実施方法															
	一般家庭から生活廃水の汲取り申請があると、市は汲取りを行い、申請者は後日納入通知書により手数料を納付する。															

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)	≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])	
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了	
	平成19年度中に改善した点 申請件数が減少傾向のため、バキューム車1台を排ガス規制不適合ため5月に廃車し、残り1台のバキューム車と汲取りの対応に不足を生じる部分をエンジンポンプ等搭載のトラックにより、迅速な対応を図った。		

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		2,223	2,121	2,113	
	決算(見込み含む)		2,049	2,014		
	(嘱託職員) (臨時職員)	(人)	(人)	(人)	(人)	
	正規職員人件費		0.70 人	6,440	0.90 人	8,455
	公債費					
	事業費合計		8,489	10,469		
	財源内訳	一般財源	8,489	10,469	2,113	
		国・県支出金				
		受益者負担金				
	市債					
	その他					
	市民一人当たり(単位:円)		25.1	30.9		
	利用数一単位あたり(単位:円)		5,396.7	5,911.1		

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標
	活動実績	汲取り申請件数	件	1,573	1,771		
		汲取り世帯	世帯	151	141		
		汲取り手数料	千円	2,270	2,298		
成果分析	汲取り量	地下水の汚染を抑制するためには、汲取りを必要とする。	0	目標値	4,374,000	4,212,000	
				実績	4,540,800	4,596,700	実績値の拡大を図る1
			%	達成率	96.3	91.6	実績値の縮小を図る2 2

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価
	対象設定	事業の対象を見直す必要性 <input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし	実施主体	現在の実施主体 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 見直しの必要性
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合 <input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	受益と負担の関係	受益者負担の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 見直しの必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	明らかとなった課題	①平成20年度については、残りバキューム車も排ガス規制により廃車となるため、リース車両により対応する。②汲取り槽を永年維持させるため、油等の混入防止、助言指導を引き続き行う。③既存宅地の細分化により、一部家庭で使用量に見合わない吸込み槽の狭小化が見られる。		
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)	
	平成20年度における目標設定	下水道が布設されていない地域において、一般家庭から排出される生活廃水(し尿の除く)を申請者の依頼により通年を通じ迅速な対応により汲取りをする。	バキューム車が6月7日で廃車となることから、その後については、バキューム車を買貸し引続き業務を行う。	下水道が布設されるまで。
	平成21年度における事業の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
	総合評価	<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
評価理由	下水道未整備地域では、生活廃水を専用の吸込み槽に落としている一般家庭が多いことから、当該地域に下水道が布設されるまでは市が汲取りを行い、市民の生活衛生環境を保全する必要がある。			
評価日	平成20年5月10日	記入者職氏名	生活環境課長 荒木 純夫	

⑨個別計画における方向性	一次評価を受けて	平成21年度における事業の方向性					
	二次評価	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了					
	第三次評価	予算 <input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
	第四次評価	評価理由 <input type="checkbox"/> 評価日					
⑩環境基本計画	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		評価理由	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
⑪個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	121			
	施策の体系	1-2水質汚濁の防止	施策の方向	1-2-1生活排水・下水道整備等の浄化対策の推進			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード				
	基本目標						
	主要課題						
	施策の方向						